



城南中だより

舞鶴市立城南中学校
令和5年11月1日発行
第8号 通算670号



<http://jonan-maizuru.edumap.jp/> TEL75-0137

理想は遠く 希望は高く 仰ぎつつ

晩秋の候 保護者・地域の皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申しあげます。10月28日に予定していました城南祭は、会場でのインフルエンザ蔓延防止や、生徒達が試行錯誤し十分に練度を高めてより満足できる発表機会を保障するために、時期を改めて設定しました。今月は、2学期の各教科の締めくくりである「総括テスト」や、来るべき「入学者選抜」等を見通して、腰を据えて勉学に励みます。

4月の「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙の結果から本校3年生が「家で自分で計画を立てて学習をしている」の項目は全国比+10%、京都府比+20%の好結果でした。また、5月の京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～の同様の質問にも1年生73%、2年生66%の生徒が肯定的な回答をし、こちらも京都府平均を上回っています。

校区で推進する「家庭学習チャレンジ週間（家庭学習強化週間）」への各ご家庭での励まし等が、生徒の学習習慣定着や学習意欲の醸成に大きな一助となっています。

城南中学校区 一貫教育

本校では「就学前から、10年間を見通した一貫教育」をスクールビジョンに掲げています。11月に開催予定の「小中一貫教育モデル校区研究大会（第二期）」では、校区の3小学校との、児童生徒の小・中9年間の学びの連続性を生かした質の高い教育への実践を振り返るとともに、今後の城南中学校区の教育推進を展望します。



園児と紙芝居を楽しむ2年生

系統的で切れ目のない学習活動と、発達段階に応じた校区連携による「つながり、挑戦する児童生徒の育成」をテーマに丁寧に積み重ねてきました。

「ウェルビーイング（地球全体の幸せ）」をはじめとするこれからの時代に求められるコンピテンシー（知識、スキル、態度及び価値を含む包括的な概念）とされる「新たな価値を創造する力」「対立やジレンマを克服する力」「責任ある行動をとる力」（OECD Education 2030プロジェクト）の育成等に、ますます励みます。

確かな学び ころろ豊かに たくましく

校外学習（2年生職場体験学習）では各事業所で丁寧に受け入れて頂き、成功裡に終えることができました。明日につながるポジティブな評価をして頂き誠にありがとうございました。この取組は、生徒が将来「自立した社会人として、より良い社会を築く」ための力を伸ばすことを主題とした、特別活動・総合的な学習の時間を有効に組み合わせたカリキュラムの一部です。地域の皆様方には、今後も引き続きお世話になります。

さて、「入試は団体戦」という言葉があります。互いに顔を突き合わせて学校でともに学ぶ生徒の互恵的で協同的な側面や、学びの環境とモチベーションとの関係性などから生まれたのでしょう。一方、団体戦でも個人戦でも根底には自己との対峙・折り合いで貫かれた一人ひとりの「生き方」があり、肝心の「要」であることは間違いありません。

探究し学び続ける授業デザイン「舞ラーニング」の理念と“「城南スタイル（教育のユニバーサルデザイン）」”の学習による落ち着いた学校風土を活かし「授業は団体戦！」を掛け声に一丸となり、より良い学びを追求します。

保護者・地域の皆様方の変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。時節柄、どうぞご自愛ください。

校長 福本 浩介 教職員一同



より良い学校教育で、より良い社会をつくる